

栄ふれあい

第 6 号

発行日／平成28年 3月20日
 発行／栄地区コミュニティ協議会
 発行責任者／菊池 政史



人と人が支えあえる 栄地区をめざして

栄地区コミュニティ協議会 会長 吉江 常浩

栄地区コミュニティ協議会加入の自治会・町内会の皆さまには常日頃より運営に対しましてはご理解とご協力を戴き誠にありがたく感謝いたします。

現在、中央区には、22のコミュニティ協議会があります。その内、21のコミュニティ協議会で連絡会を組織しています。

その活動は、年6回の研修会をはじめ研修視察も行われます。平成28年1月の研修会では、コミ協の「活動拠点施設」についての意見交換、各コミ協の現状・実態の検証・あり方等の意見交換を行いました。

また、活動拠点及び活動の場の確保、「活動拠点施設」建設に向けて市当局、市議会に働きかけを行う予定です。

その他、中央区区長との懇談会・中央区選出議員との懇談会、合併後の検討結果についてや、コミ協と自治協の連携のあり方等意見交換も行われています。



第9回ビーチライフ in 新潟 開会式

当コミ協も従来から、防災・防火・防犯活動、福祉活動、交通事故防止活動などに取り組んでいます。

また新潟市では、高齢者を地域で支える「地域包括ケアシステム」の構築が進められています。

私たちコミ協が「どんな活動・どんな支援を出来るか」を一緒に協議しながら、高齢者の方々が住みなれたこの地域で、安心・安全で過ごせるよう「人と人が支えあえる栄地区」を推し進めていかなければと考えております。

これからも当コミ協の運営に、皆さまのご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



第9回 ビーチライフ in 新潟 当日の様子

総務部会



中央区自治協議会委員になって

栄地区コミュニティ協議会理事 加藤 素三

栄地区コミュニティ協議会から推薦を受け、中央区自治協議会委員に就任しました。

任期は2年。(平成27年4月1日～29年3月31日、再任は一期2年まで)

委員会は38名の委員で構成されていて、地方自治法に基づいて新潟市に設置されている付属機関です。

ここでは、三つの部会があり、1ヵ月に一度全体会議を開催します。

- ①「人にやさしい暮らしのまち」部会
- ②「拠点と賑わいのまち」部会
- ③「水辺とみなとのまち」部会

そして「中央区自治協議会だより編集部で構成されています。

私は、①の「人にやさしい暮らしのまち」部会に所属していて、「話し合おう、我が家の防災」を全員で企画、立案。平成28年1月3日「中央区だより」に発表しました。

今夏の参議院議員選挙から選挙権年齢が「18歳以上」に引き下げられます。

若い芽を大切に育てていきたいと思えます。



安心・安全を願って

栄地区コミュニティ協議会 総務・事務局長 菊池 政史

昭和の華やかかりし頃は、家族揃って百貨店の屋上の遊園地で遊んだりした思い出がありますが、その百貨店も閉店となり数年が経ちました。

その跡地の活用で商業複合ビルの再開発構想の話が浮上していますが、早く昔のように地域活性化して欲しいものです。

私たちの住んでいる中央区の通称「新潟島下町界限」は高齢化率が40%を超えています。50年前の下町は4小学校で7千人ほどの児童がいて、また大小の企業も多くあって大変にぎやかな活力ある町でした。その4小学校が統合、2つある中学校も統合して新たに日和山小学校、新潟柳都中学校となり、希望に満ちた船出となりました。

比較的穏やかな陽光を浴びて、「今年の冬は？」とっていた矢先、日本列島に低気圧の寒気団がすっぽりと覆い、改めて新潟が雪国であると実感しています。

新しい小学校の開校で児童の通学路もかわり、オレ



セーフティスタッフによる登校時の見守り



セーフティジャンパー

ンジのジャンパーを着たセーフティスタッフがそれぞれの地区内の要所に立って、児童に朝の挨拶を交わし安心安全の見守り活動を毎日続けています。

まったく新しい通学路となり、しかも通学範囲も広がるために地区内のセーフティスタッフのボランティアを募ったところ、28名の参加者がありご協力いただいています。

登校時間は8時10分でその前の7時30分頃から児童の通学を見守っています。

毎日同じ時間に登校し、交差点の角に友達が来るのを待って高学年児童が1・2年生と一緒に仲良く登校しています。児童は学校・地域に慣れて元気な声でセーフティスタッフに「おはようございます」とあいさつを返してくれます。

厳しい冬の見守りは大変ですが、セーフティスタッフの皆さんはくれぐれも健康に留意し、無理をしないで「人にやさしい暮らしのまち」の安心・安全見守り活動を継続していきましょう。

安全・環境部会



防犯・防火パトロール活動について

栄地区コミュニティ協議会 副会長 川村 一郎

栄地区防犯協会と栄地区防火連合会が、地域内で防犯・防火パトロールを開始してから6年になりました。

このパトロールは地区の防犯・防火の役員と、自治町内会の防犯・防火の委員の方合計3、4名が輪番で巡回しています。毎週水曜日午後7時（冬期間は午後6時）から拍子木を打ち、鐘を鳴らし、赤色合図灯で巡回を知らせ、地域の皆さまに「火の用心、戸締り用心」と呼びかけながら約一時間ほど大通りや路地を巡回します。



防犯・防火パトロール（横七番町通）



振り込め詐欺防止PR活動



夜に花開く月見草

パトロールは皆さまの防火意識の喚起と、空き巣・窃盗、車上狙い、車の破損などの犯罪の予防・抑止力になっています。

また、パトロール中は危険箇所や防犯灯の球切れを把握するなど、安全の確保にも努めています。そして行き交う方には声掛けをするなど、地域の方との絆を大切にしています。

今後とも自治町内会の皆さまのご理解とご協力を頂きながら、「安心・安全な地域」を目指してパトロール活動を行います。

厚生・文教部会



西海岸公園と石のモニュメントの草刈りについて

栄地区コミュニティ協議会 安全・環境部長 笠巻 正男

平成19年に新潟市が政令指定都市へ移行した記念として、「一般社団法人 新潟市造園建設協会」が石のモニュメントを設置し、新潟市に寄贈して以来毎年草刈り、草取りを行っています。

今年は10月3日の午前9時から11時30分頃までの予定で作業を開始しました。開始に先立ち、協会から挨拶と作業範囲及び注意事項の説明があり、事故や怪我のない様に準備をして作業開始となりました。

造園業の方はエンジン付草刈機で公園の左側からエンジン音も高らかに草刈りを始めました。新潟柳都中学校の生徒は右側から始めました。ボランティア（栄地区コミ協の役員と近所の方）は石のモニュメントの石と石の間と石付近から植木の剪定や植木の中の草や落ち葉、枯れ枝やごみ等の草取りを始めました。

15分もすると腰が痛くなり、立ち上がって腰を伸ばしたりしながらの作業となります。作業開始から一時間後、途中休憩となりお茶を飲んで一息。その後も皆さんで協力し、作業を進めました。

11時頃作業を終了し、帰りにチューリップの球根を5個もらい自由解散となりました。



新潟柳都中学生からも応援参加



石のモニュメント周りの草刈り作業

防災部会



平成27年 防災訓練について

栄地区コミュニティ協議会 副会長 戸川 芳孝

平成27年の防災訓練は、4校統合により誕生した「日和山小学校区」の初めての合同防災訓練として、日和山小と新潟柳都中体育館をメイン会場に地域住民と小・中学生の全員参加の下、6月28日に行われました。

栄地区住民は各々の一次避難所に集合後、新潟柳都中体育館に避難しました。

風雨の強い生憎の悪天候の中、栄・湊地区そして入舟地区一部の住民と児童生徒で800名以上の方々が新潟柳都中に集合し、要援護者や一時避難所で解散した人を含めると訓練参加者は900名に及びました。

昨年までのとの主な違いは、

- ①栄・湊・入舟地区の3地区合同で開催
- ②新潟柳都中3年生による避難所設営訓練、身障者に対する介護訓練（物資搬送訓練）
- ③避難者カードの記入
- ④終了後、日和山小児童を小学区まで引率

等で、特に新潟柳都中3年生は災害発生時の即戦力として活躍が期待されるため、非常に有意義な訓練であったと思います。

※市の高齢化率約26%に対し、栄地区は42.9%。災害はいつ、どこで発生するかわかりません。「備えあれば憂いなし」の言葉の様に日頃の防災行動の積み重ねが、災害から自分の身を守り、家族を守り、そして地域を守ります。

今年も開催される防災訓練には、昨年以上の多くの方々が参加される様お願いいたします。



新潟柳都中で防災訓練を開催



防災部の挨拶



「日和山地区民児協」が発足します

栄地区民生委員・児童委員協議会 会長 小林 悦子

常日頃より栄地区民児協の運営に対しまして、ご理解とご協力を戴き誠にありがとうございます。

私ども栄地区は、他の地区に比べて高齢化が進み現在42%と、中央区の平均32%よりも高い状況です。加えて、私たち民生委員も高齢化しています。それに全国的な問題でもある少子化によって児童数が激減しています。

そのため2年前には舟栄中学校と二葉中学校の2校が統合し「新潟柳都中学校」となりました。

また昨年4月には、入舟小学校・栄小学校、湊小学校、豊照小学校の4校が統合して「日和山小学校」となりました。

これらのことから「一校区一民児協」という行政の基本方針により、これまでの4地区4民児協を統合して、平成28年4月1日から新しく「日和山地区民児協」となります。

当面はこれまでと同様の活動内容になると思いますが、これからも広域民児協としてより地域の皆さまのお役に立てますよう、各地域の方々のより一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

役員の抱負 健康 趣味等



副会長 戸川 芳孝

1) 健康寿命を少しでも伸ばすために、毎日早足で平均1万歩以上歩きたい。
2) 体力のある今のうちに、時間を見つけて夫婦で各地を巡りたい。



安全環境副部長 小林 敬作

今年も無理をしないで自治会長の仕事を努めていきます。



副会長 川村 一郎

例年のとおり、「健康第一」です。健康な身体でなければ何事もできません。健康を損なえば、栄地区コミ協の行事や、長年のボランティア活動も出来なくなります。そのためには、メタボを改善すること。「有言実行」も必要ですね。



安全環境副部長 本間 亮

若輩者ですがよろしくお願ひします。



総務・事務局長 菊池 政史

読書（伊集院 静）とクラシカル・クロスオーバー音楽を聴いてマイペースで健康に気をつけています。



厚生・文教副部長 間口 佳代

横断歩道でセーフティ活動を始めて、初めての冬の季節、寒風吹きすさぶ、凍てつく日は、エイ！と気合を入れて出かけると、いつもの様に元気な児童の皆さん、たくさんのパワーをもらっています。



総務・副部長 片山 隆

住み慣れた地域の元気回復に少しでも役立つよう微力ながら頑張りたいと思います。



厚生・文教副部長 山田 正子

昨年4月より栄地区コミュニティ協議会理事にさせてもらい、地域のために様々な活動に取り組んでいることがわかりました。微力ではありますが、今後ともお手伝いをしていきたいと思っています。



総務副部長 錦沢 智子

体にも心にも筋肉をつけてパワーアップする。平和な一年でありますように。



防災副部長 加藤 素三

町内、地域に対するお手伝い、見守り、日々の防災を意識して取り組んでいきたいと思っています。



安全・環境部長 笠巻 正男

今年も例年どおり健康で、町内行事、地域行事を自分の出来る範囲内でやって行けたら良いと思います。



栄地区民生委員協議会 会長 小林 悦子

四つの民事協がひとつになるということで大変だと思いますが、新しい気持ちで頑張っていきますのでよろしくお願ひします。元気で身体に気を付けて頑張りたいです。

編集後記

今年度もあとわずかとなりました。

1年間を振り返ってみると、たくさんの行事が蘇ります。全ての行事を掲載できませんが、久しく途絶えていた広報誌「栄ふれあい」をカラー6ページにわたり作成しました。

大きな災害や社会情勢に不安を感じる昨今ではありますが、来る1年も地域の支え合いの力が大いに発揮される年になりますように（広報誌担当 川村・菊池・片山・加藤・錦沢）

